

Bluetooth カーキット LBT-HF100C2 シリーズ 取扱説明書

このたびは Bluetooth* カーキット「LBT-HF100C2 シリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品と、お使いの Bluetooth 対応携帯電話と接続することにより、安全で便利なハンズフリー通話を行うことができます。
本製品を正しく、安全に使用するために、本書を必ずお読みくださるよう、お願い申し上げます。
また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管してください。
*Bluetooth および Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

本製品と接続できるのは Bluetooth 対応携帯電話だけです。
Bluetooth 非対応携帯電話とは接続できません。
携帯電話の機種により、機能が制限される場合があります。
※この製品は au モバイル環境でご使用になれますが、本製品の品質に関して KDDI 株式会社が何ら保証するものではありません。

■改正道路交通法について

平成 16 年 6 月 9 日に公布された改正道路交通法では、自動車、自動二輪車、原動付自転車の運転手が走行中に、携帯電話などを手で保持して通話または、メールの送受信などのために携帯電話などを手で保持して注視した場合など、道路における交通の危険を生じさせなくても、罰則の対象となります。

- ・通話を開始する前の準備操作は、車を停めた状態で行ってください。運転中の操作は危険なので行わないでください。
- ・自動車運転時に本製品を使用して通話を行う場合は、自動車を安全な場所に停車させてから行っていただきますようお願いいたします。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。



本体 × 1
ユーザーズガイド (保証書付き) × 1

取り扱い上の注意

■正しく安全にお使いいただくために

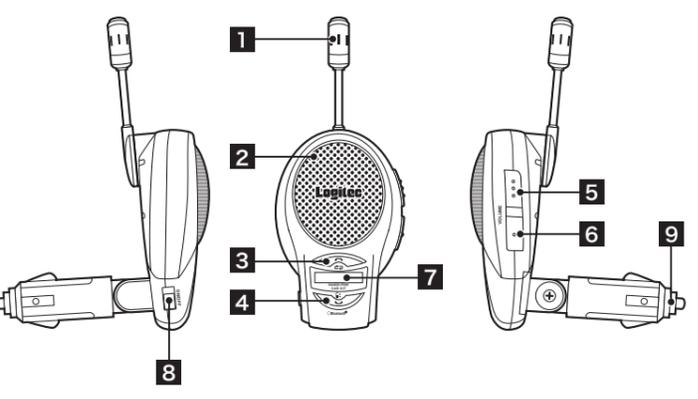
本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

- 危険** ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、または物的損害を負う危険性が差し迫って生じる項目です。
 - 走行中に設定操作を行わないでください。運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。

- 警告** ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、または物的損害を負う危険性がある項目です。

- 万一、異常が発生したときは... 本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに電源を切り、シガーソケットから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。
- 修理・改造・分解しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は、弊社サポートセンターへご依頼ください。

各部の名称と役割



- 1 マイク** 通話するときに使用します。マイクの角度、およびソフトチューブ部を曲げて、通話しやすい位置に設定することができます。
- 2 スピーカ**
- 3 「通話」ボタン** 通話を開始するときに押します。
- 4 「ストップ」ボタン** 通話を完了するとき、または携帯電話との接続を解除するときに押します。＊携帯電話とのペアリングを行うときにも使用します。
- 5 「ボリュームアップ」ボタン** ボリュームを大きくするときに押します。
- 6 「ボリュームダウン」ボタン** ボリュームを小さくするときに押します。
- 7 ディスプレイ** 相手の電話番号や、本製品の状態を示すアイコンが表示されます。＊電話番号が表示されるのは 10 桁 です。携帯電話の 11 桁の電話番号の場合は、最初の「0」が表示されません。例：09012345678 → 9012345678
- 8 パワースイッチ** このスイッチを上をスライドすると、本製品の電源が ON になります。下をスライドすると、電源が OFF になります。
- 9 シガープラグ** 自動車内のシガーソケットに接続します。

⚠ 注意

ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある項目です。

- 水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。
- シガーソケットの形状をご確認ください。外国産車や国産車の一部には、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。
- マイクを無理に曲げないでください。本製品のマイクのソフトチューブ部を無理に曲げないでください。マイクおよび内部の配線を損傷する原因となります。

■その他：こんなことにも注意してください

- ・シガーライター付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配／延長ソケットをお買い求めください。
- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が高時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・車種によっては、キーを抜いてもシガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用のお車がこのタイプの場合、お車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

■車内設置時の注意

- ・車内は高温になる場合がありますので、車内に放置しないでください。

通話を開始する前の準備

⚠ 安全のため、通話を開始する前の準備操作は、車を停めた状態で行ってください。運転中の操作は危険なので行わないでください。

■シガーソケットへの取り付け

本製品のシガーソケットへの取り付けは、安全のため、必ずお車のエンジンを切った状態で行ってください。

- 1 本製品のシガープラグをシガーソケットへ「カチッ」と音がするように、しっかりと取り付けます。**
 - シガープラグは、図のように角度を変えることができます。



■本製品の電源の ON/OFF

- 1 パワースイッチを上をスライドすると、電源が ON になります。下にスライドすると、電源が OFF になります。**



ディスプレイに以下のアイコンが表示されます。

- 📶 スタンバイ状態

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の放射を停止した上、弊社テクニカルサポート（裏面参照）にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポート（裏面参照）までお問い合わせください。

2.4	FH	1	2.4	FH	1
			①	②	③

- ① 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」変調方式を表します。
- ③ 「1」想定される与干渉距離（約 10m）を表します。

■ Bluetooth 対応携帯電話とのペアリング

本製品は、ペアリング操作を行った携帯電話のみ使用することができます。本製品をはじめて使用するときは、必ず以下の手順でペアリングを行ってください。

- 1 お車のエンジンを始動します。**
- 2 パワースイッチを上をスライドして、電源を ON にします。**
 - 本製品がスタンバイモードになります。
- 3 「ストップ」ボタンを押して、ペアリング操作を開始します。**
- 4 携帯電話の Bluetooth 機器検索機能で、本製品を検索します。本製品の機器名は「LBT-HF100C2」です。**
 - Bluetooth 機器検索機能については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 5 「LBT-HF100C2」を選択後、Bluetooth パスキー「0000」を入力します。**

本製品は、「マルチペアリング」機能がサポートされています。そのつどペアリングを行う必要がありませんので、便利です。記憶できる携帯電話の台数は、最大 2 台までです。一度ペアリングを行えば、エンジンが始動すると自動的に携帯電話を検索します。（同時に接続できるのは、1 台です。また、最後に接続された、または通信があった機器が最優先で選択されます。）

裏面に続く ➡

表面より続く 

通話を開始する前の準備

■本製品と携帯電話の接続

本製品を使用するには、本製品とペアリングされた携帯電話を、以下の手順で接続状態にしてください。

1 携帯電話のBluetooth機能が使える状態にします。

●エンジンを始動したとき、本製品は最後に接続された、または通信があった機器を自動的に検索します。接続が完了した場合は、ディスプレイに、接続状態を示す次のアイコンが表示されます。ディスプレイにこのアイコンが表示されないときは、2の操作をしてください。

	接続状態
--	------

2 本製品がスタンバイモードの状態で、「通話」ボタンを押します。
●携帯電話との接続が開始され、正常に接続されると、ディスプレイに接続状態を示すアイコンが表示されます。

■本製品と携帯電話の接続の解除

以下の手順で接続を解除します。

	本製品や携帯電話のBluetooth電源をOFFにするか、またはお車のエンジンを切ると、以下の操作を行わなくても、接続は解除されます。
--	---

1 「ストップ」ボタンを押します。
●接続が解除され、本製品がスタンバイモードになります。

 スタンバイ状態

便利な機能

以下の操作は、交通法規に従い、安全な状態で行ってください。

■携帯電話の音声認識ダイヤル

音声認識で電話をかける機能です。

	この機能は、音声認識機能が備わった携帯電話でのみ利用できます。また携帯電話で、ボイスタグなどの設定が完了している必要があります。詳しくは、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
--	---

1 携帯電話と接続された状態で本製品の「通話」ボタンを押します。

2 本製品のマイクから、携帯電話に音声指示を送ります。

	この機能は、音声認識機能が備わった携帯電話でのみ利用できます。詳しくは、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
--	--

■リダイヤル

最後にかけた番号にリダイヤルする機能です。

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
--	---

1 携帯電話と接続された状態で、「通話」ボタンを約2秒間押し続けます。最後にかけた番号に自動的にリダイヤルされます。

通話操作

通話操作は、交通法規に従い、安全な状態で行ってください。

■電話を受ける（通話開始）

- 電話がかかってくると、スピーカから着信音が聞こえます。
 - スピーカからの着信音は、携帯電話の機種により異なります。
- 「通話」ボタンを押すと、通話ができる状態になります。
- スピーカとマイクで通話を行います。

■電話を切る（通話完了）

1 通話が完了し、電話を切るには、「ストップ」ボタンを押します。

■ボリューム調節

1 通話中、または着信時に「ボリュームアップ」または「ボリュームダウン」ボタンを押してボリュームを調節します。
●ボリューム調節中は、ディスプレイに以下のアイコンが表示されます。

	ボリューム調節中
---	----------

●設定できる最大または最小ボリュームになると、スピーカから「ブッ、ブッ」警告音がします。

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
---	---

■着信拒否

着信を拒否する機能です。

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
---	---

1 電話着信後、「ストップ」ボタンを押すと、着信の拒否ができます。

■マイク消音

通話中に、一時的にこちらの音が相手に聞こえないようにする機能です。

1 通話中に、「ボリュームダウン」ボタンを約2秒間押し続けると、本製品のマイクが消音（ミュート）状態になります。

	消音を解除するには消音中に、「ボリュームダウン」ボタンを約2秒間押し続けると、消音解除されます。
---	--

こんなときは（故障かな？と思う前に）

本製品が正常に作動しないときは、次の点を確認してください。

■電源が入らない、ディスプレイに何も表示されない、動作しない

確認ポイント	対 策
シガーソケットに本製品がきちんと差し込まれていますか？	差し込み直してください。
車のエンジンがかかっていますか？	本製品は、シガーソケット経由で車から電源をとっています。お車を始動して、通電してください。
電源がONになっていますか？	パワースイッチを上にもスライドして電源をONにしてください。

■電話を受けられない、電話をかけられない

確認ポイント	対 策
ペアリング操作は完了していますか？	本製品をはじめて使用するときは、本製品と携帯電話のペアリングが必要です。
携帯電話と接続していますか？	本製品と携帯電話が接続状態になっていないと、通話機能は使えません。

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
---	---

上記の対策を行っても問題が解決しない場合は、本製品および携帯電話の電源を入れ直すと共に、再度ペアリング操作を実行し、接続し直してください。

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
---	---

	この機能は、携帯電話が「ハンズフリーモード」に設定してある場合にのみ利用できる機能です。ハンズフリーモードについては、お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
--	---

製品仕様

製品型番	LBT-HF100C2	
キャリア周波数	2.4～2.480GHz	
最大受信感度	-80dBm	
Bluetooth性能	Bluetooth v2.0 + EDR 準拠 <p>Class II, 5～10m（障害物がない場合）</p> <small>※距離は、通信を行う Bluetooth機器の性能やそれぞれの電源容量に依存します。</small>	
対応プロファイル	HSP（Headset Profile） <p>HFP（Hands-Free Plofile）</p> <p>GAP（Generic Access Profile）</p>	
適合規格	TELEC / JATE	
アンテナ	チップ・アンテナ	
入力電圧	DC+12V & 24V（シガーソケットより供給）	
消費電力	3W	
環境条件	温度	0℃～55℃
	相対湿度	15%～85%（ただし、結露無きこと）
外形寸法	W62 × H141 × D112（mm）	
質量（本体のみ）	101g	
付加機能	携帯電話の音声認識ダイヤル、リダイヤル、着信拒否、マイク消音	
		スタンバイ状態に表示されます。
	0123456789	着信・発信中の電話番号が表示されます。10桁表示 <p>*電話番号が表示されるのは10桁です。携帯電話の11桁の電話番号の場合は、最初の「0」が表示されません。</p> <p>*11桁を超える場合は、3秒間、最初の10桁を表示して、次に残りの番号を3秒間表示します。</p>
ディスプレイ表示		接続中に表示されます。
		接続確定中に表示されます。
		通話中に表示されます。
		ペアリング中に表示されます。
		ボリューム調節中に表示されます。

■音質が悪い、スピーカからの音が聞こえにくい

確認ポイント	対 策
Bluetooth通信の状態が悪いエリアにいませんか？	Bluetooth通信の状態が良好な場所に移動してください。
ボリュームが小さくありませんか？	「ボリュームアップ」ボタンでボリュームを大きくしてください。

■こちらの声が聞こえないと相手に言われた

確認ポイント	対 策
マイクが消音になっていませんか？	消音になっていると、こちらの音声は相手には聞こえません。

以上の対策を行っても問題が解決しない場合は、いったん本製品の使用を中止し、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

	お問い合わせ先
---	---------

製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

ロジテック株式会社 テクニカルサポート
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268
TEL 0570-022-022 FAX 0570-033-034
受付時間：9：00～12：00、13：00～18：00
営業日：月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

弊社修理受付窓口（修理品送付先）
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入窓口）
TEL 0265-74-1423 FAX 0265-74-1403
受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00
営業日：月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。※お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

保証規定

■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理を致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます、添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。

- 本保証書の提示をいただけない場合。
- 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合。
- 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
- 弊社および弊社が指定するサービスマン以外で、修理、調整、改良された場合。
- マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。
